

アパレル商品論・演習Ⅱ

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 前期 必修 (演習)

◆授業の方針・概要。

ファッショントレンドができる仕組み、時代に見るファッション傾向、ヒットアイテムと時代の関係性、商品のオリジナリティなど、ファッション商品を取り巻く様々な要素についてリサーチ・分析する。また、リテールプランニングのオリジナル商品展開（卒業制作）に向けてのリサーチとまとめを実施する。

◆到達目標（学修成果）

年間を通して演習するリテールプランニング課題のショップまたはブランド企画に独自性のある商品を取り入れるために、ファッション関係の商品をリサーチ・分析することを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ファッションアイテム分析① [服飾小物：靴]	復習：資料のファイリング	20分
2回	ファッションアイテム分析② [服飾小物：バッグ]	復習：資料のファイリング	20分
3回	年代とファッション（1960～70年代）	復習：資料のファイリング	20分
4回	年代とファッション（1980～90年代）	予習：レポート制作準備	20分
5回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：テキスト確認	20分
6回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：テキスト確認	20分
7回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：テキスト確認	20分
8回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：テキスト確認	20分
9回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：テキスト確認	20分
10回	商品リサーチとレポートまとめ	予習：リサーチ・資料収集	20分
11回	リテールプランニングのターゲットイメージマップ制作①	予習：リサーチ・資料収集	20分
12回	リテールプランニングのターゲットイメージマップ制作②	予習：リサーチ・資料収集	20分
13回	商品展開方向性抽出	復習：資料のファイリング	20分
14回	商品展開イメージマップ制作	復習：資料のファイリング	20分
15回	ターゲットと商品展開イメージマップまとめ・プレゼンテーション	予習：リサーチ・資料収集	20分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。作品は個別講評・採点后に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書

特になし

◆参考文献

WWD、各種ファッション雑誌 など

◆オフィスアワー

毎週金曜日 16:00～17:00 1025 教室

◆備考

授業内容は進行状況により変更することもある。

アパレル素材論Ⅱ

赤澤 結花

ファッションビジネス科 2年 年間 10回 必修（講義）

◆授業の方針・概要

アパレル業界で働いていく上で必要とされる常識的なファブリックの基礎知識を、1年で学んだことを復習することで確実に身につけ、多様な角度からアパレル素材に触れることで、テキスタイルに対する感度を高める。更に販売職に役立つ知識も合わせて学んでいく。

◆到達目標（学修成果）

多角的に学ぶことで、アパレル素材に対する知識を確実なものにする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、アパレル企業で働くことに役立つ。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	天然素材の復讐	復習：ノートをまとめる	10
2回	化学合成繊維についてⅠ	復習：ノートをまとめる	10
3回	化学合成繊維についてⅡ	復習：ノートをまとめる	10
4回	紙で織る三原組織	予習：三原組織を調べる	10
5回	紙で織る綾織の応用 千鳥格子、ヘリンボーン	予習：千鳥格子等調べる	10
6回	機能素材について 機能素材のサンプル資料の作成	復習：サンプル資料の確認	10
7回	機能素材 企画	復習：企画をまとめる	10
8回	〃 プレゼンボードの制作	予習：資料を集める	30
9回	〃 プレゼンボードの制作	予習：資料を集める	30
10回	〃 プレゼンテーション	予習：プレゼンの準備	30

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評を行い、プレゼン発表後にも講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

資料の配布

◆参考文献

アパレル素材の基本 鈴木美和子・窪田英男・徳武正人著 織研新聞社/
テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株)テキスタイル・ツリー

◆オフィスアワー

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）5201教室（第5校舎2階）

◆備考

授業内容は変更することもある。

メディアプランニング

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 通年 必修(演習)

◆授業の方針・概要

1年に引き続き、情報収集、分析・整理、編集、デザイン・レイアウト、提案・表現、一通りの過程を踏みながら、さまざまな課題作品を制作する。幅広い視野を持って取り組み、しっかりと考えていけるようトレーニングしていく。同時にパソコンスキルをレベルアップさせる。

◆到達目標(学修成果)

人とモノと情報を編集していくエディット能力を高めることで、どんな職種にでもステップアップできる力を身につけることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスを目指す学生に欠かせない科目である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	情報とエディトリアルワーク(2年の学習について)	復習:授業内容まとめ	20分
2回	名刺制作	予習:デザイン考案	20分
3回	〃	復習:データ整理	20分
4回	ファッション×エコプレゼンボード制作	予習:資料収集	30分
5回	〃	復習:データ整理	20分
6回	編集(読む・書くetc)トレーニング1	復習:課題整理	20分
7回	編集(読む・書くetc)トレーニング2	復習:課題整理	20分
8回	編集(読む・書くetc)トレーニング3	復習:授業内容まとめ	20分
9回	ポスター制作	予習:材料準備	20分
10回	〃	復習:データ整理	20分
11回	写真演習(商品撮影)	予習:材料準備	30分
12回	チラシ制作	予習:材料準備	20分
13回	〃	復習:データ整理	20分
14回	〃	復習:データ整理	20分
15回	印刷物データ作成について	復習:企画構想検討	30分
16回	編集(読む・書くetc)トレーニング4	復習:課題整理	20分
17回	編集(読む・書くetc)トレーニング5	復習:課題整理	20分
18回	販促物について(パンフ・カタログ・DMなど)	予習:資料収集	30分
19回	写真演習(ロケ撮影)	予習:材料準備	30分
20回	商品カタログ制作	予習:材料準備	20分
21回	〃	復習:データ整理	20分
22回	〃	復習:データ整理	20分
23回	〃	復習:データ整理	20分
24回	卒業制作 販促物製作	予習:制作資料準備	30分
25回	〃	予習:制作資料準備	30分
26回	〃	予習:制作資料準備	30分
27回	〃	予習:制作資料準備	30分
28回	〃	予習:制作資料準備	30分
29回	卒業アルバム製作	復習:データ整理	30分
30回	〃	復習:データ整理	30分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。作品は個別講評・採点後に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書

必要に応じ資料を配布

◆オフィスアワー

毎週水・金曜日 16:00~17:00 1025 教室(本校舎2階編集室)

◆参考文献

織研新聞、WWD、各種ファッション雑誌など

◆備考

授業内容は変更することもある。

リテールプランニング

山口 大人

ファッションビジネス科2年 通年 必修(演習)

◆授業の方針・概要

- (1)サステナビリティを念頭に置いたファッションビジネスの講義を行う。
- (2)産学連携授業のファッションアイテムのリユースプロジェクトにおいてPOPUP ショップの企画立案、実施に重点を置く。
- (3)授業担当者のファッション産業におけるサステナビリティの知見やリユースファッションの実務経験を生かした授業を展開する。

◆到達目標(学修成果)

- (1)サステナビリティとファッションビジネスの潮流や基本的知識を身につける。
- (2)授業を通して行う調査、企画立案、発表、運営などから実務の基礎的な流れを体得する。
- (3)1年生との合同授業でマネジメント能力を身につける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業認定の必須科目である。他の授業とも連携し行う。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション 授業概要について	昨年度を振り返る	60分
2回	サステナビリティとファッションビジネス①	予習・復習	60分
3回	サステナビリティとファッションビジネス②	予習・復習	60分
4回	サステナビリティとファッションビジネス③	予習・復習	60分
5回	サステナビリティとファッションビジネス④	予習・復習	60分
6回	サステナビリティとファッションビジネス⑤	予習・復習	60分
7回	サステナビリティとファッションビジネス⑥	予習・復習	60分
8回	サステナビリティとファッションビジネス⑦	予習・復習	60分
9回	産学の取り組み①	調査	60分
10回	産学の取り組み②	運営準備	60分
11回	産学の取り組み③	運営準備	60分
12回	産学の取り組み④	運営準備	60分
13回	産学の取り組み⑤	運営準備	60分
14回	産学の取り組み⑥	運営準備	60分
15回	産学の取り組み⑦	運営準備	60分
16回	産学の取り組み⑧	調査	60分
17回	産学の取り組み⑨	運営準備	60分
18回	産学の取り組み⑩	運営準備	60分
19回	産学の取り組み⑪	運営準備	60分
20回	産学の取り組み⑫	運営準備	60分
21回	産学の取り組み⑬	運営準備	60分
22回	産学の取り組み⑭	運営準備	60分
23回	産学の取り組み⑮	運営準備	60分
24回	産学の取り組み⑯	運営準備	60分
25回	産学の取り組み⑰	運営準備	60分
26回	産学の取り組みの振り返り	考察	60分
27回	サステナビリティとファッションビジネス⑧	予習・復習	60分
28回	サステナビリティとファッションビジネス⑨	予習・復習	60分
29回	サステナビリティとファッションビジネス⑩	予習・復習	60分
30回	まとめ	通年の考察と振り返り	90分

◆フィードバックの方法

授業の成果物に対してコメントによるフィードバックを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
試験	—
課題	80%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

◆教科書

なし。

◆参考文献

必要に応じて資料を配布。

◆オフィスアワー

必要に応じて授業内で伝える。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

エディトリアルワーク

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 通年 必修(演習)

◆授業の方針・概要

ファッションビジネス科では、販売はもとよりマーチャンダイザー、バイヤー、プレス、オンライン運営など様々な職種にステップアップできるように学んでいくが、アパレルの商品流通や販売の視点だけでなく、他業界にも目を向け幅広い知識やスキルを習得する必要がある。この授業では、ファッションをテーマにしなが、情報を集めるリサーチ力、それをまとめる分析・整理能力、人に提案する表現力などをレベルアップさせる。もちろんパソコンスキルも磨いていけるよう課題制作に取り組む。

◆到達目標(学修成果)

人とモノと情報を編集していくエディット能力を高めることで、どんな職種にでもステップアップできる力を身につけることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスを理解するために身につけていきたい根本的な能力を培う科目である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・エディトリアルワークとは	復習：授業内容まとめ	10分
2回	編集(読む・書く)トレーニング1	復習：授業内容まとめ	10分
3回	編集(読む・書く)トレーニング2	復習：授業内容まとめ	10分
4回	名刺作成	復習：授業内容まとめ	10分
5回	写真演習1	予習：資料収集	10分
6回	写真演習2	予習：資料収集	10分
7回	写真演習3		
8回	フィールドリサーチ&まとめ1		
9回	フィールドリサーチ&まとめ2		
10回	グループワーク ジャーナル作成1：計画		
11回	グループワーク ジャーナル作成2：取材/撮影		
12回	販促物について(パンフ・カタログ・DM・ポスターなど)		
13回	印刷物データ作成について		
14回	ポスター制作1		
15回	ポスター制作2		
16回	グループワーク ジャーナル作成4：画像処理		
17回	グループワーク ジャーナル作成5：文字起こし		
18回	グループワーク ジャーナル作成6：まとめ		
19回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作1		
20回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作2		
21回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作3		
22回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作4		
23回	産学連携ポップアップ販促物等企画制作5		
24回	修了作品ブック作成1		
25回	修了作品ブック作成2		
26回	修了作品ブック作成3		
27回	修了作品ブック作成4		
28回	修了作品ブック作成5		
29回	修了作品ブック作成6/まとめ・印刷		
30回	年間の授業内容まとめ・データ整理		

◆フィードバックの方法

課題ごとに評価・採点し、授業内で講評、返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

◆教科書

特になし 必要に応じてプリント配布

◆参考文献

織研新聞、WWD、各種ファッション雑誌など

◆オフィスアワー

必要に応じて授業終了後対応

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

スタイリングディレクション

木村 千晶

ファッションビジネス科 2年 通年 必修 (演習)

◆授業の方針・概要。

スタイリストに限らずファッション業界の仕事は、商品企画をわかりやすく伝達していくために、あらゆる視点からの洞察力やプレゼンテーション能力が必要となります。市場調査をはじめトレンドを理解しながら、マップづくりやスタイリング提案など各自の完成を表現する実習を中心に、幅広い知識や経験を得られるよう、現場で活躍するスタイリストを講師に迎えながら、スタイリスト・ヘアメイク・カメラマン・編集などの仕事も学習、体験していきます。

◆到達目標 (学修成果)

スタイリングの基本となる、シルエット、テイスト、サイズ、素材、色の影響化における印象の理解と習得を目指す。TPOをわきまえたスタイリングイメージを構築し、的確にプレゼンができるようにする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界に携わることに於いて、スタイリングイメージの構築と分類、簡潔で的確な提案は即業界で役立つ知識と経験として重要である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	2024 春夏トレンド研究	復習：授業内容まとめ	20分
2回	市場調査	復習：授業内容まとめ	20分
3回	テーマAによるスタイリング/撮影	復習：分析まとめ	20分
4回	テーマAマップ作成	予習：資料収集	20分
5回	テーマA発表	予習：資料収集	20分
6回	スタイリストによる講義・演習①	復習：授業内容まとめ	20分
7回	市場調査	復習：分析まとめ	20分
8回	テーマBによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
9回	テーマBマップ作成	予習：資料収集	20分
10回	テーマB発表	復習：授業内容まとめ	20分
11回	スタイリストによる講義・演習②	復習：分析まとめ	20分
12回	市場調査	予習：資料収集	20分
13回	テーマCによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
14回	テーマCマップ作成	復習：授業内容まとめ	20分
15回	テーマC発表	復習：授業内容まとめ	20分
16回	2024-25 秋冬トレンド研究	復習：授業内容まとめ	20分
17回	スタイリストによる講義・演習③	復習：授業内容まとめ	20分
18回	テーマDによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
19回	テーマDマップ作成	予習：資料収集	20分
20回	テーマD発表	復習：授業内容まとめ	20分
21回	テーマEによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
22回	テーマEマップ作成	予習：資料収集	20分
23回	テーマE発表	復習：授業内容まとめ	20分
24回	テーマFによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
25回	テーマFマップ作成	予習：資料収集	20分
26回	テーマF発表	復習：授業内容まとめ	20分
27回	テーマGによるスタイリング/撮影	予習：資料収集	20分
28回	テーマGマップ作成	予習：資料収集	20分
29回	テーマG発表	復習：授業内容まとめ	20分
30回	2年間まとめ・プレゼンテーション	復習：授業内容まとめ	20分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。作品は個別講評・採点後に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

特になし

◆参考文献

WWD、各種ファッション雑誌 など

◆オフィスアワー

毎週水・金曜日 16:00～17:00 1025 教室

◆備考

授業内容は変更することもある。

セールスプロモーション

北澤 淳子

ファッションビジネス科 2年 通年 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

ファッションリテールビジネスに関わっていく上で必要不可欠な基礎知識や、ブランドを作り上げていく上で重要になるマーケティングの考え方や思考のプロセスを学び、最終的に消費者にどう伝えていくかまでを考える力を養うことを目指します。実地でのリサーチや実践的な体験を通して、主体的なプランニングに繋がっていきます。

◆到達目標 (学修成果)

ファッションリテールのショップやブランドの立ち上げをゼロから企画立案し、「リテールプランニング」と連動しながら、自らの企画のプレゼンテーションができることを目標とします

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

ファッションリテールショップの企画書とプレゼンテーションを評価認定します。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ファッションリテールの概要と変遷	テーマに応じたリサーチとプランを主体的に実施。 個別に進捗状況を確認指導していく。	各自進捗による
2回	マーケティングとブランディング		
3回	フィールドリサーチの実施計画		
4回	フィールドリサーチ		
5回	*クラス内発表及びディスカッション		
6回	ブランドコンセプトとターゲット		
7回	フィールドリサーチ		
8回	*クラス内発表及びディスカッション		
9回	マーチャンダイジングとは①		
10回	マーチャンダイジングとは②		
11回	各自ブランドを決めて情報収集とプランニングを実施		
12回	各自ブランドを決めて情報収集とプランニングを実施		
13回	*クラス内発表		
14回	ブランドの世界観の表現		
15回	顧客政策とサービス		
16回	各自テーマの設定		
17回	各自テーマの計画立案		
18回	各自テーマの計画立案		
19回	*クラス内発表		
20回	計数計画		
21回	ブランドポジショニングと競合調査		
22回	販売チャネル		
23回	各自テーマの計画立案		
24回	各自テーマの計画立案		
25回	*クラス内発表		
26回	各自テーマの修正とブラッシュアップ		
27回	各自テーマの修正とブラッシュアップ		
28回	各自テーマの修正とブラッシュアップ		
29回	各自テーマの修正とブラッシュアップ		
30回	卒業制作のリハーサル		

◆フィードバックの方法

各個人の発表に対して都度その場で伝達

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	

◆教科書

特になし (適宜プリント配布)

◆参考文献

特になし

◆オフィスアワー

必要に応じて授業終了後対応

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

現代ファッション流通論

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 通年 必修 (講義)

◆授業の方針・概要

日本のファッション・流通産業は、原料・素材から生産、製品、小売りの各段階による分業体制の利点を生かして発展してきたが、現在はその構造が大きく変化、再構築する時代に入っている。原料調達、生産におけるグローバル化は急速に進む一方で、国内需要の減少と海外市場の拡大を想定した新たな産業像の確立が迫られている。この授業では、織研新聞やWWDを参考にしながら、ファッション産業の発展形態と、SPAに代表される新業態、デジタル技術革新など、ファッション・流通産業の現状と今後を学習し、テーマを設定したディスカッションや個別レポートなども行なっていく。なお、前期ファッションビジネス能力検定試験前は、検定対策も実施していく。

◆到達目標 (学修成果)

ファッション・流通産業の歴史や現状と仕組みを知ることによって「専門力」と「仕事力」を育成する。ファッション・流通産業のプロフェッショナルを目指す人材に近づくことを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要。就職に必要な基礎的産業知識を養い、ファッション業界で活躍するための専門力向上に資する科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	イントロダクション；ファッションとは	予習：関心を整理	20分
2回	メディアについて考える；必要な情報をどのように得るのか	復習：講義ノート整理	20分
3回	産業構造を知る；産業分類と産業構造について。	復習：講義ノート整理	20分
4回	ファッション産業の現状；川上産業～川下産業の理解	復習：講義ノート整理	20分
5回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：講義ノート整理	20分
6回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：講義ノート整理	20分
7回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：講義ノート整理	30分
8回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：講義ノート整理	20分
9回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：講義ノート整理	20分
10回	ファッションビジネス能力検定2級対策	復習：講義ノート整理	20分
11回	ファッション産業の全体像；産業の概要、市場規模、構造変化	復習：講義ノート整理	20分
12回	繊維素材産業；繊維産地の成り立ちと現状、染色・整理産業	復習：講義ノート整理	20分
13回	アパレル産業①；アパレル製造業の歴史と発展過程	復習：講義ノート整理	20分
14回	アパレル産業②；クチュールからプレタへの歴史的転換	復習：講義ノート整理	20分
15回	SPA産業；SPAの成り立ちと発展過程	復習：講義ノート整理	30分
16回	流通産業；流通産業の成り立ちと発展過程	復習：授業内容まとめ	20分
17回	デジタルがもたらす変化；技術革新の発展過程	予習：資料収集	20分
18回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション①	予習：資料収集	30分
19回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション②	予習：資料収集	20分
20回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション③	予習：資料収集	20分
21回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション④	予習：資料収集	20分
22回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑤	予習：資料収集	20分
23回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑥	予習：資料収集	20分
24回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑦	予習：資料収集	30分
25回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑧	予習：資料収集	20分
26回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑨	予習：資料収集	20分
27回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑩	予習：資料収集	20分
28回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑪	予習：資料収集	20分
29回	WWD・織研新聞レポート&ディスカッション⑫	予習：資料収集	20分
30回	まとめ	予習：資料収集	20分

◆フィードバックの方法

小試験、レポートは添削して返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書 ファッションビジネス能力検定2級テキスト。毎回ハンドアウト資料を配布。

◆参考文献

織研新聞、WWD、各種ファッション雑誌など

◆オフィスアワー

水・金曜日 16:00～17:00 1025 教室 (本校舎2階編集室)

◆備考 授業内容は変更することもある。

プレゼンテーションⅡ

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 通年 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

課題となるテーマについて、さまざまな角度からの着眼を「画面」と「言葉」で具体的に伝えることを繰り返し実践する。

◆到達目標 (学修成果)

「セルフブランディング」を実施することで自分の得意、特徴、興味を見極め、リテールプランニングのショップ及びブランドやリテールビジネス企画の「きっかけ部分」につなげていく。

後期はPPTを使ったリテールプランニングの発表ツールを作る。また、卒業制作を適切なプレゼンテーションの手法で実施できるようにする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目。リテールプランニングや卒業制作と連動する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・自己紹介	内容理解と復習	30分
2回	セルフブランディング①	課題材料準備	30分
3回	セルフブランディング②	内容理解と復習	30分
4回	セルフブランディング③	内容理解と復習	30分
5回	セルフブランディング④	内容理解と復習	30分
6回	課題 A-①	課題材料準備	30分
7回	課題 A-②	内容理解と復習	30分
8回	課題 A-③	内容理解と復習	30分
9回	課題 A-④プレゼンテーション	内容理解と復習	30分
10回	課題 B-①	課題材料準備	30分
11回	課題 B-②	内容理解と復習	30分
12回	課題 B-③	内容理解と復習	30分
13回	課題 B-④プレゼンテーション	内容理解と復習	30分
14回	課題 C-①	課題材料準備	30分
15回	課題 C-②	内容理解と復習	30分
16回	課題 C-③	内容理解と復習	30分
17回	課題 C-④プレゼンテーション	内容理解と復習	30分
18回	卒制に向けて	材料準備	30分
19回	卒制に関わるプレゼンテーション演習①	材料準備・整理	30分
20回	卒制に関わるプレゼンテーション演習②	材料準備・整理	30分
21回	卒制に関わるプレゼンテーション演習③	材料準備・整理	30分
22回	卒制に関わるプレゼンテーション演習④	材料準備・整理	30分
23回	卒制に関わるプレゼンテーション演習⑤	材料準備・整理	30分
24回	卒制に関わるプレゼンテーション演習⑥	材料準備・整理	30分
25回	卒制に関わるプレゼンテーション演習⑦	内容理解と復習	30分
26回	卒業制作口頭プレゼンテーション原稿制作と試行①	材料準備・整理	30分
27回	卒業制作口頭プレゼンテーション原稿制作と試行②	材料準備・整理	30分
28回	卒業制作口頭プレゼンテーション原稿制作と試行③	材料準備・整理	30分
29回	卒制に関わるプレゼンテーションリハーサル	材料準備・整理	30分
30回	卒業制作口頭プレゼンテーション本番	予習：審査会シミュレーション	30分

◆フィードバックの方法

プレゼンを実施するごとに、講評する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

必要に応じて資料配布

◆オフィスアワー

毎週：金曜日 (15時～16時) 1025 教室 (本校舎2階)

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

アパレルCGⅡ

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 通年 必修(演習)

◆授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、デザイン業務においてスタンダードアプリケーションソフトである Illustrator・Photoshop のスキルアップを目指し、さまざまな応用テクニックを実践していく。それぞれの目的に沿ったイメージを表現できる活用方法を学ぶ。後期は卒業制作と連動して授業を進めていく。

◆到達目標(学修成果)

Illustrator・Photoshop を使い、さらに表現方法の幅を広げ、効果的・効率的に操作できるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスには欠かせない科目である。

Illustrator・Photoshop を効果的に使いこなす業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修		
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)	
1回	応用テクニック レイアウト練習	フリー素材の使用	復習:データ整理・確認	10	
2回		レイアウトの基本(ページ構成)①	復習:データ整理・確認	10	
3回		レイアウトの基本(ページ構成)②	復習:データ整理・確認	10	
4回	産学連携・卒業制作などの授業に向けての 企画・編集から レイアウト練習	コンセプト・フリー素材セレクト	復習:データ整理・確認	10	
5回		ビジュアル(レイアウト)イメージ	復習:データ整理・確認	10	
6回		レイアウト考案・ラフ作成①	復習:データ整理・確認	10	
7回		レイアウト考案・ラフ作成②	復習:データ整理・確認	10	
8回		ラフチェック	復習:データ整理・確認	10	
9回		デザイン画・ハンガーイラスト・画像レタッチ①	復習:データ整理・確認	10	
10回		デザイン画・ハンガーイラスト・画像レタッチ②	復習:データ整理・確認	10	
11回		画像配置(レイアウト)①	復習:データ整理・確認	10	
12回		画像配置(レイアウト)②	復習:データ整理・確認	10	
13回		画像配置(レイアウト)③	復習:データ整理・確認	10	
14回		講評・修正	復習:データ整理・確認	10	
15回		まとめ・提出	復習:データ整理・確認	10	
16回		各種データ作成	販促物①	復習:データ整理・確認	10
17回			販促物②	復習:データ整理・確認	10
18回	販促物③		復習:データ整理・確認	10	
19回	販促物④		復習:データ整理・確認	10	
20回	販促物⑤		復習:データ整理・確認	10	
21回	販促物⑥		復習:データ整理・確認	10	
22回	卒業制作	データ作成①	復習:データ整理・確認	10	
23回		データ作成②	復習:データ整理・確認	10	
24回		データ作成③	復習:データ整理・確認	10	
25回		販促物制作①	復習:データ整理・確認	10	
26回		販促物制作②	復習:データ整理・確認	10	
27回		販促物制作③	復習:データ整理・確認	10	
28回		修正	復習:データ整理・確認	10	
29回		仕上げ	復習:データ整理・確認	10	
30回		まとめ・提出	復習:データ整理・確認	10	

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

作品は個別講評・採点后に返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

随時、授業内容に合わせネットから検索。WWD、各種ファッション雑誌など。

◆オフィスアワー

月曜日(15時30分～16時30分)1025教室(本校舎2階編集室)

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

卒業制作

木村 千晶

ファッションビジネス科2年 10日間 必修(実習・実技)

◆授業の方針・概要

2年間の学びの集大成として、各自の個人企画(ショップ企画)をまとめた成果を発表することを目標に、企画、運営、実施を集中的に行う。

アパレル業界で活躍する方を審査員として審査会を行い、外部評価とする。

◆到達目標(学修成果)

イベント企画及び運営・実施に各自役割を持って取り組み、卒業制作発表を成功に導く。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目。マーチャンダイジング、メディアマーケティング、アパレルCGと連携して行っていく。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	様々なイベントの意義や形式、ケーススタディ	予習: イベント情報収集	30分
2回	卒業制作の個人企画について発表・質疑応答(個々に口頭発表)	予習: 発表内容準備	30分
3回	イベントとしての卒業制作発表会企画立案と役割決め、スケジュール確認	復習: 内容理解とファイリング	30分
4回	個人企画の具体的展開案ブラッシュアップ(実習と点検・アドバイス)①	復習: アドバイス項目の確認	30分
5回	個人企画の具体的展開案ブラッシュアップ(実習と点検・アドバイス)②	復習: 内容の更新	30分
6回	個人企画の具体的展開案ブラッシュアップ(実習と点検・アドバイス)③	復習: 内容の更新	30分
7回	卒業制作発表シミュレーション	復習: 担当役割の確認	30分
8回	卒業制作発表準備	予習: 内容確認	30分
9回	卒業制作発表準備	予習: 内容確認	30分
10回	卒業制作発表本番	復習: 実施フィードバック記入	30分

◆フィードバックの方法

進捗状況を判断し、次回までの作業を毎回確認する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	授業への取り組み、課題の完成度等による総合評価とする。
試験	—	
課題	70%	
検定試験結果	—	
企業評価(インターシップ)	—	

◆教科書

使用する教科書は特になし。必要に応じて資料の配布

◆オフィスアワー

毎週: 月～金曜日(15:30～16:30) 1025 編集室

◆参考文献

必要に応じて資料の配布

◆備考

卒業制作展示を想定しているが、発表形式により授業内容を変更することもある。

ビジュアルマーチャンダイジング

森本 真由美

ファッションビジネス科2年 通年 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

授業担当者の商業コンサルタント（VMD、販売スキル、商品開発、人材育成・組織開発等）としての実務経験を活かし、ネット時代のアパレルリテールに求められる戦略的な売場づくり及び店舗からの情報発信の仕方を習得することを目指す。

Visual Merchandising (VMD) とは、商品計画を視覚に訴える売場づくりを行うことで、商品陳列や演出など狭義のディスプレイも含んでいる。授業では、VMDの基本的な考え方と技術、および店頭に求められる商品と消費者をつなぐコミュニケーションの場としての売場の機能を考え、店舗の販売スタイルや消費者の回遊行動に隠れた気持ちを捉えるなど消費者の購買心理からも売場づくり・VMDの役割を学ぶ。

◆到達目標（学修成果）

1. VMDを理解し、商品を提案する意図を視覚面で明確に伝える技術の習得を目指す。
2. 売場づくりの知識を通して、店舗の販売スタイルや顧客の購買心理など、販売実務に関して総合的な視点を持つことを目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

通年の授業を通して、学びの成果発表である、卒業制作の展示計画・展示技術習得へ繋げていく。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション ネット時代のVMD	復習：VMD 専門用語の確認	10
2回	立地・業態による店舗特徴をリサーチ (VMDのフィールドワーク①)	予習：街情報下調べ	20
3回	立地・業態による店舗特徴を分析①立地・業態による店舗特徴を検証	予習：リサーチ資料の用意	30
4回	立地・業態による店舗特徴を分析②立地・業態による店舗特徴を検証	予習：発表資料の準備	20
5回	VMDのフィールドワーク①発表	予習：発表の準備	20
6回	VMDの構成要素、売場の心理学、カラーの知識	復習：専門用語の確認	10
7回	VMDの構成要素をリサーチ (VMDのフィールドワーク②)	予習：街情報下調べ	20
8回	VMDの構成要素を分析①	予習：リサーチ資料の用意	20
9回	VMDの構成要素を分析②	予習：発表資料の準備	20
10回	VMDのフィールドワーク②発表	予習：発表の準備	20
11回	インスタプロモーションとしてのVMD、DP計画	復習：DP計画の確認	10
12回	ディスプレイ実習	予習：DP用資材の用意	20
13回	ディスプレイ実習	予習：DP用資材の用意	20
14回	ディスプレイ実習・発表	予習：発表の準備	20
15回	リアル店舗のSNSでの情報発信	復習：講義内容の確認	10
16回	インスタプロモーションとしてのPOPの活用	復習：講義内容の確認	10
17回	販促ツール・POP実習	予習：POP作成準備	20
18回	販促ツール・POP実習	予習：POP作成準備	20
19回	販促ツール・POP実習・発表	予習：発表の準備	20
20回	VMDと店舗の情報発信のリサーチ① (VMDのフィールドワーク③)	予習：リサーチの準備	20
21回	VMDと店舗の情報発信を分析①	予習：リサーチ資料の用意	20
22回	VMDと店舗の情報発信を分析②	予習：リサーチ資料の用意	20
23回	VMDのフィールドワーク③発表	予習：発表の準備	20
24回	シーズンディスプレイ計画・販促	復習：DP計画の確認	10
25回	シーズンディスプレイ実習	予習：DP用資材の用意	20
26回	シーズンディスプレイ実習	予習：DP用資材の用意	20
27回	シーズンディスプレイ実習・発表 *専門店協会ディスプレイコンテスト応募	予習：発表準備	20
28回	プロモーション・展示ブースについて、卒業制作展準備	復習：講義内容の確認	10
29回	卒業制作展準備	予習：卒制展の準備	20
30回	卒業制作展準備	予習：卒制展の準備	20

◆フィードバックの方法

課題に対しては授業時間内でのアドバイスや提出物返却時にコメントにてフィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題（プレゼンテーション含む）	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

授業内でプリントを配布。課題・テーマに合わせてDVD視聴。

◆参考文献 課題ごとに参考資料を紹介する。

◆オフィスアワー 授業終了後、質問などに対応。

◆備考 実習進捗に合わせて、授業内容を変更することもある。日程が合えばビジネスフェア等の視察も予定。

接客対応スキル

野本 睦美

ファッションビジネス科2年 年間10回 必修(演習)

◆授業の方針・概要

「ファッション」は、人から人への指針や信頼が伝わり顧客が広がる「心の社会を追究するビジネス」である。「ビジネスマナー」「接客」の知識をさらに深め、企業が求める理想の人材を追求する。

◆到達目標(学修成果)

自己分析をしながら、将来像を描き、販売を通して実現できるスキルを身に付けることを目標とする。授業担当者の販売のプロとしての実務経験を活かし、社会で必要とされる基本知識や実践的な接客方法を習得することを目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。ファッションビジネスには欠かせない科目である。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	自己PR	自己分析、他人からの見られ方	復習:ノート整理	20分
2回	面接	第一印象を考える	復習:ノート整理	20分
3回	冠婚葬祭1	接客に必要な知識 結婚式	復習:ノート整理	20分
4回	冠婚葬祭2	接客に必要な知識 お葬式	復習:ノート整理	20分
5回	冠婚葬祭3	接客に必要な知識 まとめ	復習:ノート整理	20分
6回	TPOを考える/オン	会社でのマナー、着こなし	復習:ノート整理	20分
7回	TPOを考える/オフ	休日、旅先でのマナー、着こなし	復習:ノート整理	20分
8回	着こなし提案	小物、雑貨を考える	復習:ノート整理	20分
9回	修理・取り扱い方	より美しく着るために	復習:ノート整理	20分
10回	まとめ	自己表現	復習:ノート整理	20分

◆フィードバックの方法

毎回授業終わりに、内容・感想・質問等を記入したルーズリーフを提出してもらい、次の授業始めに返却。個人的内容に関してはコメントを記入し、全体の問題点であれば授業中にフィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	40%
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じ資料を配布

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆参考文献

なし

◆備考

授業内容は変更することもある。

コミュニケーションスキルⅡ

森下 公雄

服飾造形科2年 年間10回 選択必修(演習) / ファッションビジネス科2年 年間10回 必修(演習)

◆授業の方針・概要

コミュニケーションにおける会話にての「伝える」「きく」ということを理解する。
自分を知ってもらい、相手を理解するといったことを理解した上で、「説得」と「傾聴」のスキルを身につける。
自分を他者に理解してもらい、自身の意見を他者に理解してもらうためにはどう振舞えばよいかを体系的に理解する。

◆到達目標(学修成果)

自身のキャリアビジョンを他者にプレゼンテーションし理解してもらう。
ファッションビジネスにおいて、接客/販売/営業、企画プレゼンなどで使用するコミュニケーションスキルを習得する。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

接客応対時に顧客視点での応対が出来るようになる。
ファッションビジネスだけではなく、コミュニケーションスキルを高め対人関係の良好化する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	自分を理解し他者に知ってもらい (自己PRする)	復習: キャリアビジョン	15
2回	お客様をもてなす準備 (友人を招く)	復習: 店頭での準備	20
3回	「気配り」と「心配り」の違いを知る (準備と先読み)	復習: 気配り実践	15
4回	第一印象の必要性理解 (あいさつと表情)	復習: お客様視点	15
5回	相手に興味をもつ (リサーチとアプローチ)	復習: 他者を観察する	15
6回	「伝える」ことの意味 (ノンバーバルコミュニケーション)	復習: ノンバーバル理解	20
7回	「きく」ことの意味 (3つのきくと質問の理解)	復習: 質問の活用	20
8回	セールストーク (良いところを見つけ説明する)	予習: 強みの理解	30
9回	他己紹介 (パートナーのことをプレゼンする)	予習: 仲間の長所理解	30
10回	セルフプレゼンテーション (自身の夢やビジョンをプレゼンする)	予習: 発表準備	60

◆フィードバックの方法

- ・講義内でディスカッション形式を取り入れ、各自の参画を促す。
- ・講義内でロールプレイング(実践)を取り入れ、知識だけではなく経験値を高める。
- ・9回目にプレゼンテーション(自己PR)の準備、10回においてプレゼンテーションを実施し評価。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験(最終プレゼン)	50%
課題	20%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

◆教科書

講師作成の資料に基づき講義します。

◆参考文献

特になし

◆オフィスアワー

- ・授業終了後、質問や相談に対応します。
- ・その他メールでの問い合わせは随時対応いたします。

◆備考

講師作成の資料に基づき講義します。
必要資料は適宜配布いたします。

特別講義Ⅱ

木村 千晶

ファッションビジネス科 2年 年間8回 必修(講義)

◆授業の方針・概要

年間を通して、ファッション業界で活躍するスペシャリストを招き、最新のアパレル業界の現状から最新のトレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考える物作りの考え方を修得する。

◆到達目標(学修成果)

授業と連携しながら、学内では学べないアパレル業界の現場を知ること、自分に足りない所や勉強しなくてはいけない所を意識させ、学んでいる事の重要性を感じ自己の意識と知識の向上を目的とする。

◆卒業認定と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するために必要となります。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	WWDトレンドセミナー	講師により各回違う。 準備等や時間は事前に知らせる。	
2回	現代ファッションの歴史		
3回	日本毛皮協会講習「素材加工セミナー」		
4回	副資材について(YKKセミナー)		
5回	スマホによる動画制作		
6回	デジタルマーケティング		
7回	皮革の扱い方(演習含む)		
8回	ニューヨークコレクショントレンドセミナー		

◆フィードバックの方法

各講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する。

◆成績評価の方法・基準

・学習態度(出席状況を含む)、レポート等を総合的に評価する。

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じて資料を配布。

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

外部講師による授業のため、内容や時間等は講師により変更がある。

中国語会話

盧 繁華

高度7パル専門科2年 後期 必修（講義）／服飾造形科2年・ファッションビジネス科2年・7パル技術科2年 後期 選択（講義）

◆授業の方針・概要

まずは中国語の「発話」から学習します。正確な発音や中国語式スペリングをしっかりと覚えてから、文の構造及び基礎文法文型と慣用語句を学びます。聴く、話す、書くという形式で授業を進めます。

◆到達目標（学修成果）

話せる、聞き取れる中国語会話力を身につけることと日中翻訳もできる目標とします。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、職場にて必要な場合に対応できる一つの語学技能となります。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	第1課 発話訓練キャンプⅠ 母音類 中国語のスペリングのしくみ	第1課の母音類の発声練習	20分
2回	第2課 発話訓練キャンプⅡ 子音類 スペリングの表記法	第2課の子音類の発声練習	20分
3回	第3課 発話訓練キャンプⅢ 何月何日？ / 何時？	第3課の数、月日・曜日・時刻	30分
4回	第3課Ⅱ 第4課Ⅰ お名前は？ / どちらの学校？	第4課の人称名詞、「是」の構文	30分
5回	第4課Ⅱ 第5課Ⅰ だれ？ / なに？ / これは～です	第5課の動詞の文、疑問詞の種類	30分
6回	第5課Ⅱ 第6課Ⅰ いる / ある /	第6課の指示代名詞Ⅰ、「有」の文	30分
7回	第6課Ⅱ 第7課Ⅰ どこにいる？ / AそれともB？	第7課の指示代名詞Ⅱ、「在」の文	30分
8回	第7課Ⅱ 第8課Ⅰ どれくらいかかる？ / ～するのが好きです	第8課の形容詞の文、前置詞	30分
9回	第8課Ⅱ 第9課Ⅰ いくら？ / Aよりも～です？	第9課の比較文、手段方法の表現	30分
10回	第9課Ⅱ 第10課Ⅰ ～したい / どこで？	第10課の助動詞使い方、過去形	30分
11回	第10課Ⅱ 第11課Ⅰ ～できる？ / ～していい？	第11課の助動詞の各種の表現	30分
12回	第11課Ⅱ 第12課Ⅰ ～している / ～したことがある	第12課の動詞の各種の進行形	30分
13回	第12課Ⅱ 総合会話のまとめ	常用品詞と慣用語の復習、ドリル	30分
14回	総合文法のまとめ	基本文法・文型復習、ペーパー	30分
15回	確認筆記テスト	セルフチェック	60分

◆フィードバックの方法

授業内と授業外の指定練習課題があり毎回提出し、期末に総合まとめて成績評価とします。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	30%
課題	40%
検定試験結果	—
企業評価（インターンシップ）	—

◆教科書

『はじめよう楽々中国語』（白水社）

◆参考文献

学内の図書館にある『日中辞典』や週刊新聞の『中文導報』等を利用します。

◆オフィスアワー

毎週木曜日 13:00～17:00 までの時間帯は大学研究棟の6030号室にいます。

◆備考

なし

ビジネスコンピュータ（応用）

齋藤 宣

服飾造形科2年／ファッションビジネス科2年／アパレル技術科2年／高度アパレル専門科2年 前期 選択（演習）

◆授業の方針・概要

ビジネスにおいてコンピューターは必要不可欠である。ビジネスソフトの中でも Microsoft Office 系アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）は各種業界の中でも特に使われている。

基礎を勉強することで様々なツールの使い方を理解し、プレゼンテーションや提出資料がより分かり易く、伝わりやすい資料作成ができるよう実践していく。

◆到達目標（学修成果）

Microsoft Office 系アプリケーションソフトを理解し、資料作成するための操作ができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目でない。社会人に必須な PC スキルの基本を身に付ける科目である。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	Word	基本の復習	予習：Word 基本操作	10分
2回		Word 作品制作（フライヤー）①	予習：フライヤーについて調べる	10分
3回		Word 作品制作（フライヤー）②	復習：作業	10分
4回		Word 作品制作（フライヤー）③	復習：excel ホーム画面の確認	10分
5回	Excel	基本の復習	予習：Excel 基本操作	10分
6回		関数① 関数について	復習：操作確認	10分
7回		関数② 統計	復習：操作確認	10分
8回		関数③ 日付・時刻・文字操作	復習：操作確認	10分
9回		関数④ 論理	復習：操作確認	10分
10回		関数⑤ 情報・検索	復習：操作確認	10分
11回	PowerPoint	アニメーションの設定・動画挿入	復習：操作確認	10分
12回		PowerPoint 作品作成①	復習：作業	15分
13回		PowerPoint 作品作成②	復習：作業	15分
14回		PowerPoint 作品作成③	復習：作業	15分
15回		PowerPoint 作品作成④プレゼンテーション	予習：プレゼン原稿考える	15分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

◆オフィスアワー

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。